

経済と政策コース

(Course of Economics & Policy)

目次

1. このような方におすすめ
2. 経済と政策コースの教育内容
3. 卒業後の進路
4. その他

このような方におすすめ

- ① 社会のしくみを深く知りたい！
- ② 地域社会の課題に取り組んでいきたい！
- ③ 大学院進学や留学を目指したい！

経済と政策コースの教育内容

複雑な社会現象を捉える経済学の素養や、法制度の知識、ビジネス感覚をもって企業や官公庁で活躍できる人材を育成します。

経済学の専門知識とその応用能力を基に、現代の日本や地域が抱える諸課題を、国内及び海外との関係も踏まえ相対的に捉えて解決できる人材を育成します。

カリキュラムの特徴

経済学はDisciplineの学問

- 複雑な社会現象を見るための「メガネ」

経済学の体系的な知識と関連する法制度の知識を学べる

多様な進路に対応可能

- 企業や官公庁、学界など

①経済学のエッセンシャルから応用へ

現代社会システムの論理構造を現代経済学の手法で明らかにし、
個々の経済問題を分析する体系的な手段と問題解決の方法を学びます。

ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅱ

計量経済学Ⅰ、計量経済学Ⅱ

経済政策A、経済政策B

公共経済学、労働経済学、産業構造論

日本経済論、世界経済論

経済史、世界経済史

日本経済史Ⅰ、日本経済史Ⅱ

②法律と経済社会

現代社会を法律も含めた多角的視点から分析する能力を養成し、多様な問題を解決できる実践能力を磨くことができます。

憲法

民法Ⅰ、民法Ⅱ

商法Ⅰ、商法Ⅱ

独占禁止法Ⅰ、独占禁止法Ⅱ

債権法

租税法

行政法

③地域経済への素養と基礎

地域経済や地域行政で活躍するためには経済や法のみならず金融、経営、マーケティングに至る幅広い素養が必須です。

地域経済論、地方財政論、開発経済学Ⅰ

財政学A、財政学B

金融論Ⅰ、金融論Ⅱ、現代ポートフォリオ理論、保険論

経営戦略論、中小企業論、マーケティング、マーケティング・リサーチ

経営情報論、数理計画法、応用数理Ⅰ

④ ビジネス実践力育成プログラム

地域社会や地場企業の課題解決を通じて地域課題に取り組む実践力を身につけていきます。

プロジェクト・リテラシー

ビジネス・リサーチ

⑤国際ビジネス(plus)プログラム

地球規模の視野をもってわが国や地域の課題に取り組む素養を身につけます。

Introduction to Academic Reading

Introduction to Academic Writing

Academic Presentation & Discussion

Intermediate Academic Reading & Writing

Economic Subjects in English (ESE)

Global Business Communication I

Global Business Communication II

Global Business Communication III

想定される卒業後の進路

法制度の知識や経済分析の素養をもった
企業のビジネスパーソン

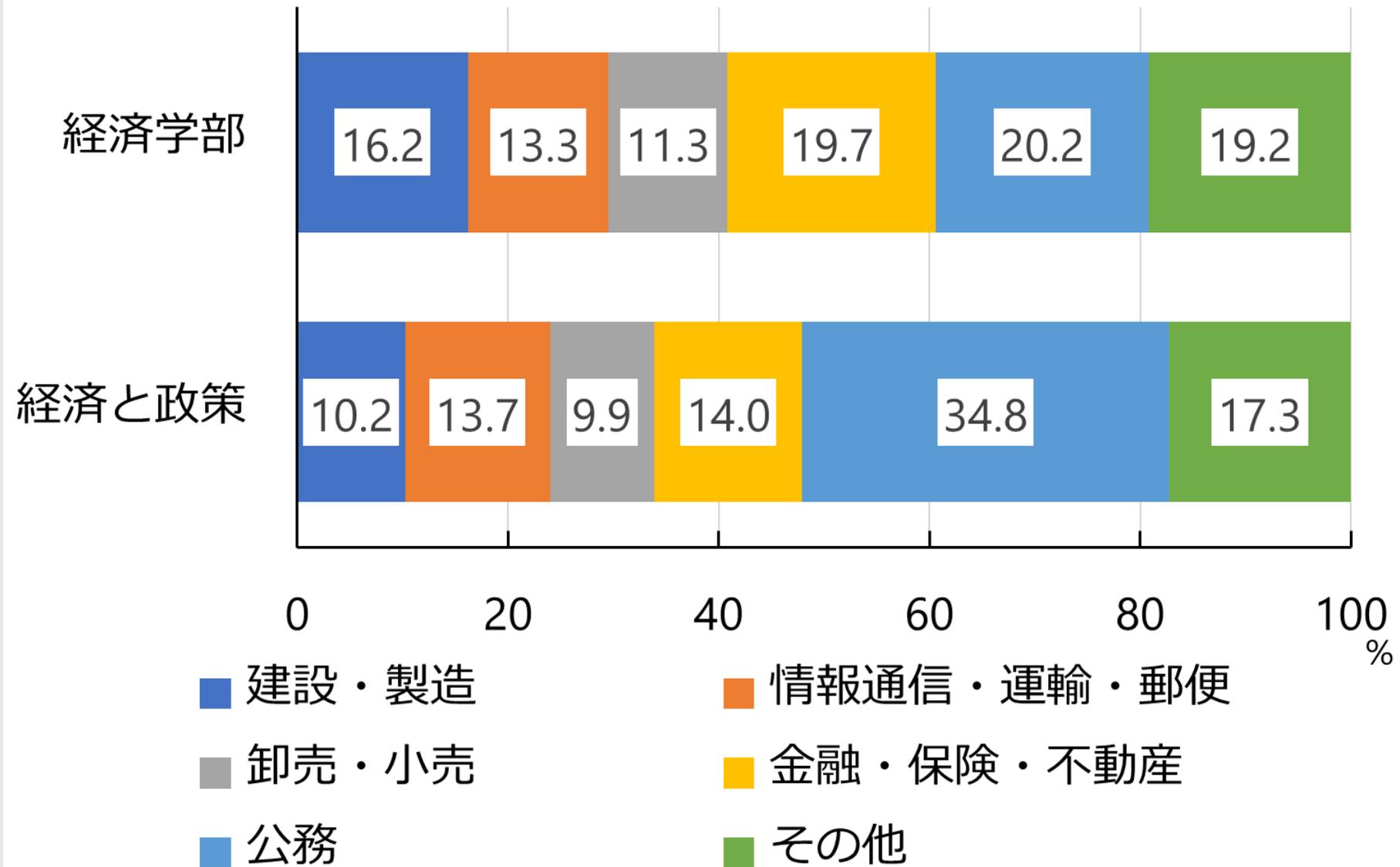
経営感覚をもった官公庁の行政マン

- 公務員試験に有利なコース科目の構成

国内外の経済学系大学院進学

- 世界標準の経済学カリキュラム

卒業生の就職先 (2017-2021)



経済学検定試験(ERE)

ミクロ経済学とマクロ経済学の知識を問う試験

全国統一基準による7段階の評価

- B+以上で長崎大学大学院経済学研究科の専門試験免除
- 公務員試験の練習にも

長崎を含む全国150会場で随時受検可能

詳細はEREホームページ(<https://www.ere.or.jp/>)